

【必読】 症例報告に関する注意事項

症例報告用紙を記載する前に必ずお読みのうえ遵守してください。

症例報告用紙PDFは Adobe Acrobat Reader で作成してください

最新の Adobe Acrobat Reader は、下記ページより無償でインストールできます

▶ <http://get.adobe.com/jp/reader/>

※ ダウンロードの際、オプション（その他の追加機能、拡張機能等）は不要です

※ インストール後、Adobe Acrobat Reader を起動し「ファイル」⇒「開く」で症例報告用紙 PDF ファイルを選択することで、入力が可能になります

※ Adobe Acrobat Reader 以外の操作では入力・印字に不具合が発生します

- (1) 認定教育施設Ⅲの申請および更新には、5 年間のインスリン療法 30 症例を提出してください。そのうち、強化インスリン療法が 20 症例以上必要です。
- (2) 施設名および診療科名：
申請する施設名および診療科名を入力してください。
- (3) 患者 ID(診療記録番号)：
後日取り出すことができるように、施設における ID 番号などを記載してください。施設で責任をもって管理する限りにおいては連結可能な独自の ID 番号を用いても構いません。ただし、後日確認が必要になった時は、病院長または診療記録管理責任者等において独自の記号等と患者 ID（診療記録番号）の照合が可能であることを保証する書類を添付してください。書類の形式は問いません。
- (4) 患者氏名：
ローマ字のイニシャルといたします。（施設の規則等によりイニシャルの記載が出来ない場合は、省略して差し支えありません。）
- (5) 受持期間：
申請者が主治医として診療に当たった期間です。診療継続中の場合、受持期間の最終日は最終診察日を入力してください。
- (6) 身長、体重：
最終受診時の計測値を入力ください。BMI は身長・体重を記載すると自動算出されます。表示されない場合は、Adobe Acrobat Reader 以外で作成されている可能性があります。
- (7) 病型：
病型が「その他：遺伝子異常が同定されたもの」、「その他：他の疾患・条件に伴うもの」などは、病型や病態診断の根拠となる検査値など、症例の概略欄に所見を付記してください。
- (8) 病態：
病型「1 型」の場合や、病態「インスリン依存状態」（生存のために必要）を選択した場合は、根拠となる検査値などを下欄に記載してください。病型「2 型」かつ、病態「インスリン依存状態」を選んだ場合は、その理由を症例の概略欄に付記してください。

(9) HbA1c、その他の指標：

最終受診時の計測値を入力ください。

(10) 糖尿病網膜症：

糖尿病網膜症の「停止」は増殖停止を意味します。

(11) 糖尿病性腎症：

病期の根拠となる eGFR、尿アルブミン、尿タンパクを記載してください。尿タンパクは定性または定量で記載してください。定量の場合は単位まで入力が必要です。なお、eGFR は未記入でエラーがかかります。

(12) 糖尿病性大血管症：

「有」の場合は所見がある部位を選んでください。複数選択可能です。

(13) 血圧、高血圧症および降圧薬：

最終受診時の血圧値を記載し、高血圧症が「有」の場合は降圧薬の一般名または先発商品名を記載してください。配合剤は成分ごとに記載してください。「投薬なし」の場合は「無」を選んでください。

(14) 脂質異常症および脂質治療薬：

脂質異常症が「有」の場合はフレデリクソン分類の病型を選択し、脂質治療薬欄に一般名または先発商品名を記載してください。配合剤は成分ごとに記載してください。「投薬なし」の場合は「無」を選んでください。家族性と診断される場合は、症例の概略欄に根拠とともに記載してください。

(15) 経口血糖降下薬：

「有」の場合、薬品名（一般名または先発商品名）を記載してください。配合剤は成分ごとに記載してください。経口 GLP-1 受容体作動薬も当該欄に記載してください。週 1 製剤の場合は、手書きで単位を修正してください。

(16) 薬品名は 8 文字以内で記載してください。薬品名の末尾を必要なだけ省略してください。

(17) 注射薬：

＜インスリン欄の記載について＞

- 指示している製剤の量を右横の（ ）内に記載してください。
- 混合型または配合型を処方している場合は、下欄に商品名または超速効/速効成分の百分率を「混合 50mix」や「配合 30mix」のように記載してください。
- CSII 施行例では basal 投与量を下欄に記載してください。標準的な bolus 投与量を「超速効/速効」欄に記載し、basal 投与量を含めた一日総投与量を「一日総インスリン量」欄に記載してください。

(18) インクレチン関連注射薬：

「有」の場合、下欄に薬品名（一般名または先発商品名）と用法・用量を記載してください。インスリンと GLP-1 受容体作動薬の配合注射薬の場合、「1 日総インスリン量」欄には同製剤分を含めた量を記載し、下欄には製品名・用法・用量を記載してください。

(19) 症例の概略欄：

患者の特徴・他疾患・特記事項などを記載してください。診断、治療方針決定、療養指導などにおける問題点などを 100 字以上 200 字以内で記載してください。これらは専門医の評価にきわめて重要です。

例えば、免疫学的検査所見がないのに 1 型と診断した理由、肝硬変症がある例をその他の型としないで「2 型」に合併したとする根拠、1 型なのに一日 1 回のインスリン注射しか行っていない理由（緩解期であるのか、社会的理由により強化インスリン療法ができないのか）、タンパク制限を実施している理由など、専門医の立場から見た個々の患者の特徴を記載してください。

【その他ご入力にあたって】

- 「症例の概略」欄は、指定の 100 字以上 200 字以内でない場合は、エラーが出ます。
- Adobe Acrobat Reader で作成されても、PC 環境によっては入力時に不具合が発生する可能性があります。
- Word やテキストエディタ（メモ帳）などに下書きを作成し、文字数確認後に貼り付けることをお勧めいたします。
- ご提出いただく症例報告用紙 PDF は、必ずデータにて保存および管理してください。
- HbA1c の数値を入力し、その他の指標欄が未記載の場合、プリントアウト時に

不備あり

 と右上に表記されることがあります。その際は、「その他の指標」欄にスペースを一つ入力してください。